

2024県本部ジェンダー平等集会

日時：6月24日(月) 14:50~16:30
講演：「多様性を考える」
にじいるCANVAS
共同代表 小野寺 真氏
会場：福島市「ラコパふくしま 5階」

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:syokichou@jichiro-fukushima.or.jp

第850号

2024年(令和6年)

5月31日

福島市荒町1-21

自治労福島県本部

発行人 澤村 英行

がんばろう福島

第19回地方自治研究 福島県集会レポート

自治研集会、6年ぶりの開催、 調査・研究の成果を共有

5月24日(金)〜25日(土)、県本部は第19回地方自治研究福島県集会を開催。県内各単組より延べ約100名が参加した。県本部による自治研集会の開催は6年ぶり。記念講演、分會会のレポート報告、地域団体の事例報告、岸真紀子参議院議員の国政報告など盛りだくさんの内容で行われた。コロナ禍をはさみ、停滞した県本部自治研活動の再興をアピールする集会となった。

専門部会報告

集会では3つの専門部会からレポート報告があった。第1専門部会は少子高齢化と人口減少社会における自治体・地域のあり方について調査。自治体DXと地域コミュニティに係る現地視察も行いながらレポートをまとめた。第2専門部会はこれからの避難所運営について調査。避難所のB(ベッド)・住、K(キッチン)・食の2つを中心に調査を行った。第3専門部会は、震災・原発事故について、復興におけるまちづくりに関

わる職員の現状を調査。県内被災自治体で2回にわたるフィールドワークを行うとともに、宮城県内の被災自治体へも訪れ、レポートをまとめた。

これからの調査・研究は2022年9月の専門部会の設立以降、部会毎に行われてきたもの。単組の垣根を越え、協力・連携のもと、作業を進めてきた。

今後はこれらのレポートから提言内容をまとめ、県へ提言書を提出する予定となっている。

自治体職員が職場の仕事を通じ、自分たちの仕事を問い直していくこと

こそが、自治研活動の原点である。調査・研究に携わった各部会員に改めて敬意を表したい。

福井県越前市のNPO法人丹南市民自治研究センターからは市民と職員の協働をテーマに講演を頂いた。設立から20年以上の歴史を重ねている同団体。自治研活動の先進事例は、われわれの目指すべき活動であることを実感した。

地方自治総合研究所・坂本 誠 研究員からは「自治体消滅」論への対応について講演を頂いた。4月に人口戦略会議が公表した「消滅可能性自治体リスト」は大きな衝撃をもって受け止められているが、坂本研究員は「強いられられた人口獲得競争から脱却すること」を訴え、地域づくりに息長く取り組み、「ほどよい状態」の持続を目指していくことが重要であるとの考えを示した。

地方自治総合研究所・坂本 誠 研究員からは「自治体消滅」論への対応について講演を頂いた。4月に人口戦略会議が公表した「消滅可能性自治体リスト」は大きな衝撃をもって受け止められているが、坂本研究員は「強いられられた人口獲得競争から脱却すること」を訴え、地域づくりに息長く取り組み、「ほどよい状態」の持続を目指していくことが重要であるとの考えを示した。



6年ぶりに開催された自治研集会に多くの組合員が参加した



国政報告を行う岸まきこ参議院議員

岸まきこ参議院議員が参加

集会2日目には岸まきこ参議院議員も駆けつけ、国政報告を行った。中でも国会で審議中の地方自治法改正案について触れ、問題点を指摘した。その内容は、大規模災害など重大な事態が発生した場合、個別法に規定がなくても、必要な対策を国が地方に指示できる

地方自治法の改正は、自治体職員にとって大きな影響を及ぼすもの。岸議員は「引き続き厳しい姿勢で国会に臨む」と決意を述べた。

地方自治法の改正は、自治体職員にとって大きな影響を及ぼすもの。岸議員は「引き続き厳しい姿勢で国会に臨む」と決意を述べた。

地方自治法の改正は、自治体職員にとって大きな影響を及ぼすもの。岸議員は「引き続き厳しい姿勢で国会に臨む」と決意を述べた。

地方自治法の改正は、自治体職員にとって大きな影響を及ぼすもの。岸議員は「引き続き厳しい姿勢で国会に臨む」と決意を述べた。

地方自治法の改正は、自治体職員にとって大きな影響を及ぼすもの。岸議員は「引き続き厳しい姿勢で国会に臨む」と決意を述べた。

地方自治法の改正は、自治体職員にとって大きな影響を及ぼすもの。岸議員は「引き続き厳しい姿勢で国会に臨む」と決意を述べた。

～私の名刺⑨～

自治労福島県本部組織部長

福地 努

(会津若松市職労)

私の日課？



皆さんは日課ってありますか？。例えば、朝のジョギングとかスポーツジム通いなど一般的に健康的なものが多いですね。私の場合は、日課というのがあっているかは別にして、家に帰ってからの晩酌ですね。お酒と言ってもビール、日本酒、ワインなど様々ありますが、宅飲みの場合は焼酎オンリーです。銘柄にこだわりはなく、ほぼ某プライベートブランドの麦焼酎を飲んでいきます。昔ある先輩から頂いた、「甲類ではなく本格焼酎にしておけ」との教えを今でも忠実に守っています。とは言え、最近は少量でもすぐに酔っ払い、外に飲みに行くと記憶がとんだり、つくづく年を取ったなあ実感しています。また、毎年人間ドックでは、先生から若干血圧がとか、γ-GTPがとか、休肝日を設けたほうがいいのか、毎年言われています。何でも先生曰く、休肝日は3日連続であけないと意味がない。らしい…。とは言え、前日に飲みすぎて「今日はやめておくか」と朝思っても仕事から帰ってくると、いつものように自然とグラスに氷を入れている。日課なのか？○○中なのか？結局飲んじゃいます。まして、ここ数年は皆勤賞で、連続飲酒日記録更新中です。

物事を続けることは難しいですし、本当に大事だと思いますが、ほどほどにしないと。と思う今日この頃です。

私はたぶん無理ですけど、皆さん休肝日を設けましょう!!

避難所運営を支援

能登半島地震被災自治体への自治労ボランティア支援活動は、3月4日より展開されているが、福島県本部からの支援第2陣として、福地努組織部長と木村圭介県北総支部事務局長が参加した。



ボランティアに参加した福地努組織部長(右)と木村圭介県北総支部事務局長

移動日も含めると4月20日から28日までの日程で、石川県能登町の避難所「能登中学校」の避難所運営に携わった。

今回の支援の時点では、被災から間もなく4か月が経過しようという時期

避難所生活と今後の生活再建などを考えると皆さん、身心ともに負担を感じているのではないかと心配する声も聞かれた。

自治労ボランティアの宿舎は富山県氷見市にある「小堺荘」。午前10時から翌午前10時までの24時間にわたり避難所支援を行い、別グループと交替、宿舎で1泊した後、また避難所に向かう形で支援を行った。大変だったのが、宿舎と避難所の

間の移動。レンタカーで片道2時間かけ往來した。福地組織部長は「移動時間もドライブだと思つて、逆に気がまぎれました。被災により道路事情が悪いところもありました。早期の復興が望まれます」と語った。木村事務局長は「福島の地から今後も応援していきたいと思ひます」と話した。

自治労ボランティアは5月30日で終了するが、最終グループには山田益寿調査部長が参加する。



2人が支援に入った石川県能登町の避難所「能登中学校」の様子

浜 総支部



総支部長 新妻 浩
【総支部長】
 新妻 浩(いわき市職労)

【副総支部長】
 門馬 優樹(相馬市職労)
 横山 芳幸(浪江町職労)
 坂本 利彦(県職連合いわき支部)

【事務局長】
 末永 暁久(大熊町職労)

【会計監査】
 森 晋弘(相馬水道職労)
 佐藤 記央(双葉水道職労)

会津 総支部



総支部長 小池政和
【総支部長】
 小池 政和(会津若松市職労)

【副総支部長】
 五十嵐久雄(喜多方市職労)
 佐藤 陽三(柳津町職労)
 宇梶 睦宏(下郷町職労)

【事務局長】
 芳賀沼崇正(下郷町職労)

【事務局次長】
 品川 貴斗(西会津町職労)

【会計監査】
 佐賀 祐志(猪苗代町職労)
 佐藤 義樹(南会津環境衛生職労)

県南 総支部



総支部長 常松康司
【総支部長】
 常松 康司(鏡石町職労)

【副総支部長】
 根本 和俊(県職連合郡山支部)
 野崎 義文(白河市職労)
 鈴木 亮(西郷村職労)

【事務局長】
 武田 貴志(須賀川市職労)

【事務局次長】
 草野 文恵(須賀川市職労)
 田村 壮(塙町職労)

【会計監査】
 伊藤 慶祐(泉崎村職労)
 菊池 亮平(東白衛生職労)

県北 総支部



総支部長 八巻真一
【総支部長】
 八巻 真一(伊達市職労)

【副総支部長】
 鈴木 巧(国見町職労)
 高橋 敦史(本宮市職労)
 鈴木 貴士(県職連合本庁支部)

【事務局長】
 木村 圭介(福島市職労)

【事務局次長】
 佐藤 到(二本松市職労)
 大河内 望(川俣町職労)
 福井 翔太(大玉村職労)

【会計監査】
 藤倉 佳嗣(桑折町職労)
 阿部 剛士(市町村共済労組)

県職連合



中央執行委員長 佐藤寛喜
【中央執行委員長】
 佐藤 寛喜(直属支部)

【副中央執行委員長】
 鈴木 貴士(本庁支部)
 大竹 健司(相馬支部)
 高玉 育子(医大支部)

【書記長】
 大内 敦夫(直属支部)

【書記次長】
 川村 美彦(北会津支部)

【監査委員】
 熊坂 牧子(福島支部)
 松本 栞(白河支部)
 寺田 俊介(相馬支部)

2024
総支部新体制スタート

浜 総支部

【住所】
 双葉郡大熊町大字下野上
 字金谷平565

【電話】
 0240-32-0790

【FAX】
 0240-32-0790

【E-mail】
 info@jichiro-hamasou.gr.jp

会津 総支部

【住所】
 会津若松市西栄町7-9
 会津労働福祉会館

【電話】
 0242-27-8550

【FAX】
 0242-27-8551

【E-mail】
 jitirou.aizu@gmail.com

県南 総支部

【住所】
 須賀川市八幡町135

【電話】
 0248-75-3400

【FAX】
 0248-75-4449

【E-mail】
 kennankyokuchu@gmail.com

県北 総支部

【住所】
 福島市五老内町3-1

【電話】
 024-533-7330

【FAX】
 024-533-5889

【E-mail】
 jichirof@juno.ocn.ne.jp

県職連合

【住所】
 福島市杉妻町2-16
 県職員会館内

【電話】
 024-523-1306

【FAX】
 024-523-1309

【E-mail】
 fkenshokuro@fukushima-pref.com

2024年度
各総支部連絡先

第43回全日本自治体職員スポーツ大会(野球)各総支部予選大会の結果

会津 Aブロック
 優勝：喜多方市職



1 9
 7 6 13 0
 6 5 9 9 (ジャンケン)
 猪苗代職労 下郷町職労 会津坂下町職労 柳津町職労 喜多方市職労 湯川村職労

会津 Bブロック
 優勝：会津若松市職労



9 1
 1 7 0 13
 15 0
 南会津町職労 会津若松市職労 西会津町職 金山町職 只見町職労

県北 Aブロック
 優勝：二本松市職労



4 1
 0 5 1 13
 国見町職労 二本松市職労 川俣町職労 本宮市職労

県北 Bブロック
 優勝：伊達市職労



18 1
 15 0
 伊達市職労 大玉村職労 桑折町職労

浜 Aブロック
 優勝：富岡町職労



1 2
 1 3 不戦勝 4 1
 10 3 4 1
 大熊町職労 飯館村職労 南相馬市職労 永大小名浜職労 富岡町職労 楢葉町職労

浜 Bブロック
 優勝：いわき市職労



5 3
 0 5 4 0
 11 2 0 13 4 0
 浪江町職労 新地町職労 広野町職労 いわき市職労 相馬市職労 川内村職労

県南 Aブロック
 優勝：白河市職労



11 4
 9 3 7 0
 8 0 4 0 1 16 3 11
 白河市職労 鏡石町職労 塙町職労 西郷村職労 浅川町職労 小野町職労 矢祭町職労 矢吹町職労

県南 Bブロック
 優勝：須賀川市職労



13 0
 不戦勝 0 6
 9 4 1 8 0 7 2 9
 社事 天栄村職労 玉川村職労 須賀川市職労 古殿町職労 棚倉町職労 平田村職労 中島村職労

地区予選の各ブロック優勝チームが出場する県大会は6月19日~20日に福島市及び伊達市で開催。応援をお願いします。